

校長室より

暗唱だより
令和7年4月7日
第三吾嬬小学校長
川中子 登志雄



金子みすゞさん

入学・進級おめでとう

令和7年度がはじまりました。入学、進級おめでとうございます。今年度も「自立」「共生」「健康」の学校教育目標に向かって、みんなががんばっていきましょう！

さて、校長室「暗唱チャレンジ」の取組は、毎年、多くのみなさんが挑戦し、昨年度はグランドスラムを達成した人が日本語課題・51名、英語課題・36名いました。

今、みなさんに取り組んでもらっている暗唱の課題は、人類の財産です。それを声に出して唱えることで、皆さんの頭と心の中に、大切な「ことば」がきざまれていきます。それは、大人になったとき、教養としてにじみ出てくるようになり、みなさんの品格を高めることでしょう。幸い、皆さんの脳はとても新しいので、ものを覚えるのがとても得意なのです。子供のうちに覚えたことは一生忘れません。今年も、ぜひ多くの人に挑戦してほしいと思っています。

4月の課題は「こだまでしょうか」

皆さんは、「こだま」って何か知っていますか？

この詩を書いた金子みすゞさんは、明治36年山口県に生まれました。成績は優秀、おとなしく、読書が好きでだれにでも優しい人であったといえます。

そんな彼女が童謡を書き始めたのは、20歳の頃からでした。四つの雑誌に投稿した作品が、そのすべてに掲載されるというめざましい活躍をみせていきましたが、その生涯は決して明るいものではありませんでした。なんと26歳という若さでこの世を去ってしまい、彼女の残した作品は散逸し、いつしか幻の童謡詩人と語り継がれるばかりとなってしまいました。しかしその作品は、現在では小学校のすべての国語の教科書に載るようになりました。

自然の風景をやさしく見つめ、優しさにつらめかれた彼女の作品の数々は、21世紀を生きる私たちに大切なメッセージを伝え続けています。

(「金子みすゞ記念館」ホームページより <https://www.city.nagato.yamaguchi.jp/site/misuzu/1050.html>)

健康 **共生** **自立**

しなやかで丈夫な
ところだからだをもつ人

思いやりをもち、共に生きる人

自ら学び、考え、行動する人

教育目標

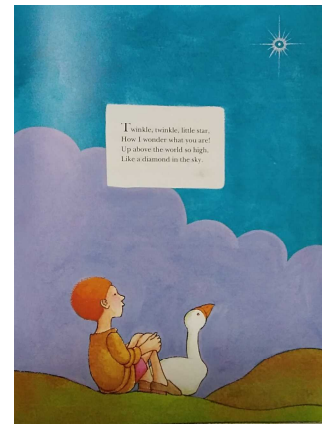
そのほか、1年生（と転入生）には、今年も特別課題を出します。「第三吾嬬小学校教育目標」です。この課題には、三吾小の全員に合格してほしいと思っています。4月中に合格できるように頑張ってください！

暗唱に合格した人は、毎月はじめにこの暗唱日より「校長室より」で名前を発表します。今年も、たくさんの人に挑戦してほしいと願っています。

4・5月の英語課題は“きらきら星”

だれもが知っているうた「きらきら星」は、イギリスの「マザーグース」のうたに入っています。きらきらと光るお星さまに、こどもが話しかけているような詩になっています。

うたで覚えると覚えやすいですね！ ぜひ、挑戦してみてください！



『自学のススメ』

今年も、皆さんの「自学」のようすを紹介していく予定です！

